



うちどく 家読のススメ



～子どもと一緒に読書を楽しみませんか～

読書は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができないものです。子どもと一緒に読書を楽しみながら、子どもの読書習慣をはぐくんでいきましょう。

「子どもの頃から読書量が多いと自己理解力や批判的思考力、主体的行動力が高い」

国立青少年教育振興機構は、20～60代の男女5000名を対象としたアンケート調査から子どもの頃の読書量と「自己理解力」、「批判的思考力」、「主体的行動力」の関連について分析しました。

調査の結果、小学校から高等学校を通して読書量が多いと回答した人は、読書量が少ないと回答した人に比べて、「自己理解力」や「批判的思考力」、「主体的行動力」のいずれの項目も高いことが分かりました。

・自己理解力

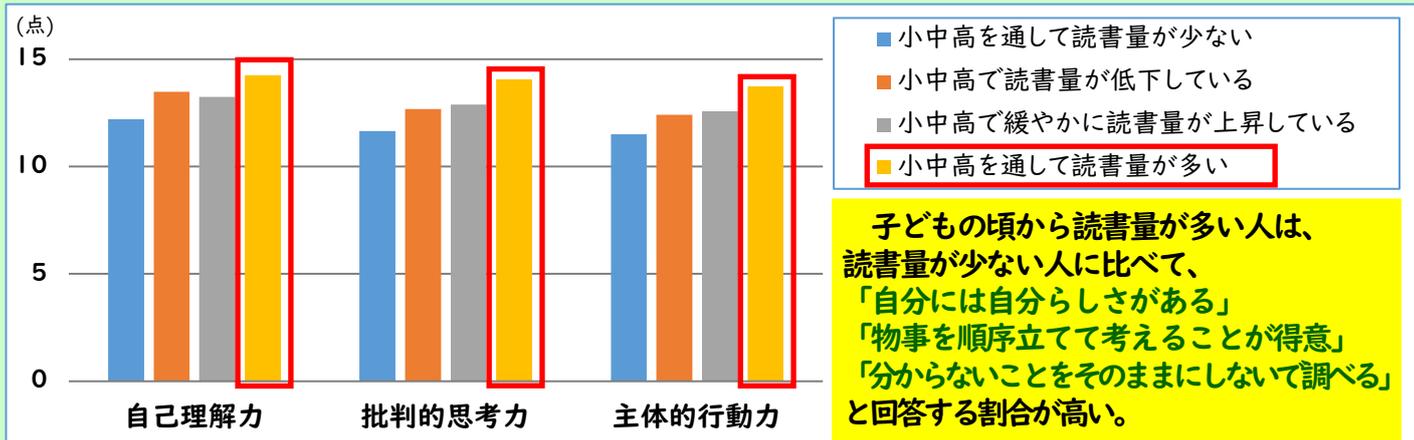
「今の自分が好きだ」「自分には自分らしさがある」など自己肯定感を含みます。

・批判的思考力

「ものごとを順序立てて考えることが得意だ」など客観的、多面的、論理的に考える力、自分あるいは他者の意見をまとめる力、コミュニケーション力を含みます。

・主体的行動力

「分からないことはそのままにしないで調べる」など何事にも進んで取り組む姿勢や意欲を含みます。



「子どもの頃の読書活動の効果に関する調査研究報告書」(令和3年8月 国立青少年教育振興機構)

「子どもと一緒に読書を楽しむポイント」

■幼児・小学校低学年

- ・リビングに常に2～3冊の絵本を置くようにする
- ・絵本の読み聞かせをする
- ・図書館の読み聞かせ会に親子で参加する

■小学校高学年

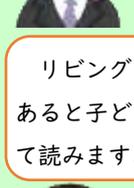
- ・子どもと一緒に読書をする時間(寝る前10分間など)を決める
- ・疑問に思ったことを子どもと一緒に本を活用して調べる
- ・図書館に行って一緒に本を選んで読む

■中学校・高等学校

- ・同じ本を読み、感じたことや考えたことを話題にする
- ・将来の夢や進路に関わる本を子どもと一緒に探して読む
- ・図書館で様々なジャンルの本を選んで一緒に読む



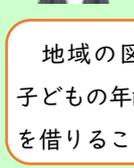
親が子どもの前で読書をする、親の姿を見て子どもも読書好きになりますよ。



リビングにいろいろな本があると子どもが本を手にとって読みますよ。



同じ本を繰り返し読んだり、ジャンルを問わずいろいろな本を読んだりするとよいですよ。



地域の図書館を活用すると子どもの年齢や興味にあった本を借りることができますよ。

「子どもと一緒に読んでみませんか」

子どもの発達の段階に合わせて、子どもと一緒に読んで楽しめる本を紹介します。家庭で子どもに読み聞かせをしたり、同じ本を読んで感想を話題にしたりしませんか。

■ 幼児

『くまちゃんが ちいさくなっちゃった』
トム・エリヤン、ジェーン・マッセイ絵、なつめひろみ訳、光村教育図書、2021



身近なものを通して子どもの「成長」を感じる絵本。

『せんそうがやってきた日』
ニコラ・デビス作、レベッカ・コップ絵、長友恵子訳、鈴木出版、2020



難民の女の子の体験を通して、世界に目を向ける絵本。

『あふないときは いやです、だめです、いきません』
清永奈穂文、石塚ワカメ絵、岩崎書店、2022



絵本を通して親子で「安全」について考えることができます。

■ 小学校低学年

『きえた犬のえ』
マーゾリー・W・シヤーマット文、マーク・モンテ絵、光村教育図書、2014



9歳のネートは名探偵。するどい推理でつぎつぎと事件を解決。絵の中にヒントが隠れているなど楽しめるミステリー。シリーズ全17冊。

『れいぞうこのなつやすみ』
村上いこ作、長谷川義史絵、PHP 研究所、2006



家電たちがしゃべりだし、休みがほしいと大騒ぎ。主人公の男の子が家電たちの夢を叶えるべく奔走します。リズムカルな関西弁の台詞がくせになる。シリーズ全9冊。

『ともだちや』
内田麟太郎作、降矢なな絵、偕成社、1998



キツネとオオカミがケンカをしたり、悩んだりしながら、友情を育てていきます。互いを思うふたりの気持ちにふれ、読んだ後、優しい気持ちになれます。シリーズ全14冊。

■ 小学校高学年

『チョコレート工場の秘密』
ロアルド・ダール著、クエンティン・ブレイク絵、柳瀬尚紀訳、評論社、2005



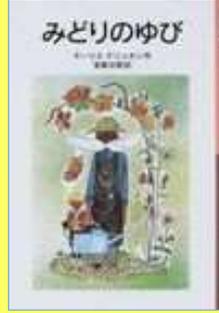
子どもたちが招待された工場にはチョコレートの川があって…。想像力溢れる1冊。

『ルドルフとイッパイアッテナ』
斉藤洋作、杉浦範茂絵、講談社、1987



黒猫ルドルフと兄貴分猫のイッパイアッテナ。ゆかいなノラネコ生活と友情の物語。

『みどりのゆび』
モーリス・ドリュオン作、安藤次男訳、新版、岩波書店、2002



指で触れるとどこにでも花が咲き大砲さえ…。戦争までやめさせた優しい少年の物語。

■ 中学校・高等学校

『世界中の子どもの権利をまもる30の方法』
国際子ども権利センター〔ほか〕編、合同出版、2019



日本で、世界で、子供たちが直面する問題を知り、SDGsへの理解を深めます。

『赤毛証明』
光丘真理作、くもん出版、2020



生徒手帳に地毛が赤いことを証明するゴム印を押された私が、友人たちと、理不尽な「校則」に声をあげる物語。自分らしく生きることを考えさせられます。

『スポーツの世界から暴力をなくす30の方法』
土井香苗〔ほか〕編、セーフスポーツ・プロジェクト監修、合同出版、2021



様々な場面で起こりうる暴力、ハラスメントにどう対処していくか、スポーツの世界から考えます。

<本の選定・紹介：北海道立図書館>

北海道立図書館のホームページで連携している道内の公立図書館の蔵書を検索できます。

道立図書館のホームページ (<https://www.library.pref.hokkaido.jp/>) > [横断検索システム](#)